

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年10月20日(金) NO15 文責 木下 ^{ました} ^{ふみあき} 文秋

コロナ禍からの生活様式

体育大会が終わった頃に、コロナの感染者が増える傾向にあり、学級を閉じるなどの措置をとりましたが、最近では感染者がゼロの日が続いています。県内の感染状況をみても少しずつですが、減りつつあります。昔ながらの日常が戻ることを期待します。体育大会については本校の保護者も半日開催を望む声が多いことを紹介しましたが、宮日新聞にもあったように県内殆どが半日開催のようです。コロナ禍の生活を機に、これまでの学校行事の多くが見直しをされていくかもしれません。しかし、弊害もあります。例えば、現在欠席の状況をGoogleフォームに入力することになっていますが、家族が登校したと思っているのに、実際は欠席と入力されているケースがあります。要するに生徒自身が勝手に欠席を入力していたということです。体調不良であれば問題ないですが、そうでなければ保護者以外の方が自由自在に扱うこととなります。ご注意を。

これぞ三股魂

今日19日は合唱コンクールです。今8時10分ですが、校長室には、校舎中から学級ごとの歌声が響き渡ります。先ほど校内を巡回してきました。パートごとに廊下で練習しているクラス、机を前にまとめて教室後方に整列して歌うクラス。どのクラスもこれまでの成果を出すために一生懸命の姿が見られ心を打たれます。朝練習、昼練習、放課後練習と休む間もなく歌っていました。このことは、これまで卒業していった先輩たちの姿を見て、自然と生産されている姿だと思います。昨日は、秋の県大会並びに地区駅伝大会の壮行会もありました。どの部活動も新主将の抱負や、元気のよいあいさつを受けました。そして最後には生徒から激励の言葉と「三股魂で頑張るぞ！オー！」という全校生徒によるエールが送られます。私もこの学校で9校目ですが、壮行会で全校生徒がこんな大きな声でエールを送る学校は初めてです。生徒数が多いことは大きな特徴ですが、何よりその生徒が気持ちを一つにしていることに感動を覚えます。朝から聞こえる魂の歌声。体育館に響き渡る魂のエール。これぞ三股魂。これぞ三股プライド。先輩から受け継がれてきたこの伝統を、後輩たちが脈々と受け継いでくれると信じてやみません。そして、すべての職員がこの学校で頑張ろうと心に誓うと確信します。やっぱりこの学校の生徒は素晴らしい。